

<p style="text-align: center;">主 日 礼 拝 順 序</p> <p style="text-align: center;">-----</p> <p>奏 楽 “イエス わが信頼” J. S. バッハ作曲 讃 美 歌 6 主の祈り 祈 禱 聖 書 列王上2:1~11 (旧528) 説 教 中島 啓一師 「ソロモンへの遺言」 祈 禱 讃 美 歌 394 報 告 頌 栄 27 祝 禱</p>	<p><u>讃美歌21 6</u> <u>「つくりぬしを賛美します」</u></p> <p>① つくりぬしを 賛美します。 み前に進み ひれふし、 ささげます 身もたましいも、 きよい主のみ名を 感謝して。</p> <p>② 全能の神を 賛美します。 嵐と波を しずめて、 こころみに 打ち勝つ力 与える恵みに 感謝して。</p> <p>③ 心こめて 賛美します。 よろこびの声 合わせて、 強い手で いつも導く あがないの神に 感謝して。アーメン。</p>	<p>1死期が近づいたとき、ダビデはこう言って王子ソロモンを戒めた。2「わたしはこの世のすべての者がたどる道を行こうとしている。あなたは勇ましく雄々しくあれ。3あなたの神、主の務めを守ってその道を歩み、モーセの律法に記されているとおり、主の掟と戒めと法と定めを守れ。そうすれば、あなたは何を行っても、どこに向かっても、良い成果を上げることができる。4また主は、わたしについて教えてください、『あなたの子孫が自分の歩む道に留意し、まことをもって、心を尽くし、魂を尽くしてわたしの道を歩むなら、イスラエルの王座につく者が断たれることはない』という約束を守ってくださるであろう。</p> <p>5またあなたは、ツェルヤの子ヨアブがわたしにしたことを知っている。彼がイスラエルの二人の将軍、ネルの子アブネルとイエテルの子アマサにしたことである。ヨアブは彼らを殺し、平和なときに戦いの血を流し、腰の帯と足の靴に戦いの血をつけた。6それゆえ、あなたは知恵に従って行動し、彼が白髪をたくわえて安らかに陰府に下ることをゆるしてはならない。7ただし、ギレアド人バルジライの息子たちには慈しみ深く、あなたの食卓に連なる者とせよ。彼らは、わたしがあなたの兄アブサロムを避けて逃げたとき、助けてくれたからである。8また、あなたのもとにはバブリン出身のベニヤミン人ゲラの子シムイがいる。彼はわたしがマハナムに行ったとき、激しくわたしを呪った。だが、彼はわたしを迎えにヨルダン川まで下って来てくれた。わたしは彼に、『あなたを剣で殺すことはない』と主にかけて誓った。9しかし今、あなたは彼の罪を不問に付してはならない。あなたは知恵ある者であり、彼に何をなすべきか分かっているからである。あの白髪を血に染めて陰府に送り込まなければならない。」</p> <p>10ダビデは先祖と共に眠りにつき、ダビデの町に葬られた。11ダビデがイスラエルの王であった期間は四十年に及んだ。彼はヘブロンで七年、エルサレムで三十三年間王位にあった。</p>
<p>☆それぞれの場所で、それぞれの時間を主のみ前に聖別し、礼拝をおささげしましょう。</p> <p>☆一つの所に集えなくても、お互いを覚えながら、一つの群れとして共に礼拝をささげているという思いで主を礼拝しましょう。</p> <p>☆インターネット、CD、テープを通しての礼拝ですので、通常のプログラムを一部割愛しています。</p>	<p><u>讃美歌21 394 「信仰うけつぎ」</u> <u>こころみ</u></p> <p>① 信仰うけつぎ、<u>試練</u>に耐えて、 今、わが心に 喜びあふれる。 (くりかえし) 信仰うけつぎ、今日も進み行こう。</p> <p>② 信じて祈れば 世界は主に帰し、 真理はわれらに 自由を与える。</p> <p>③ 敵を愛された 主イエスに従い、 愛のはたらきで 主を<u>の</u>宣べ伝えよう。 アーメン。</p>	<p>○教会通信 -----</p> <p>☆教会に集まったの礼拝、諸集会は3月末まで休止しています。それ以降のことについては、本日の役員会で協議されます。</p> <p>○3月29日(日) 主日礼拝 -----</p> <p>説教「イエスの名による祈り」 中島啓一師 聖書 ヨハネ16:16~24 (新200) 賛美 208, 493 交読 なし</p>
<p>○本日の集会 -----</p> <p>12:45~=役員会 (小礼拝堂)</p>	<p><u>讃美歌21 27 「父・子・聖霊の」</u></p> <p>父・子・聖霊のひとりの主よ、 栄えと力はただ主にあれ、 とこしえまで。アーメン。</p>	